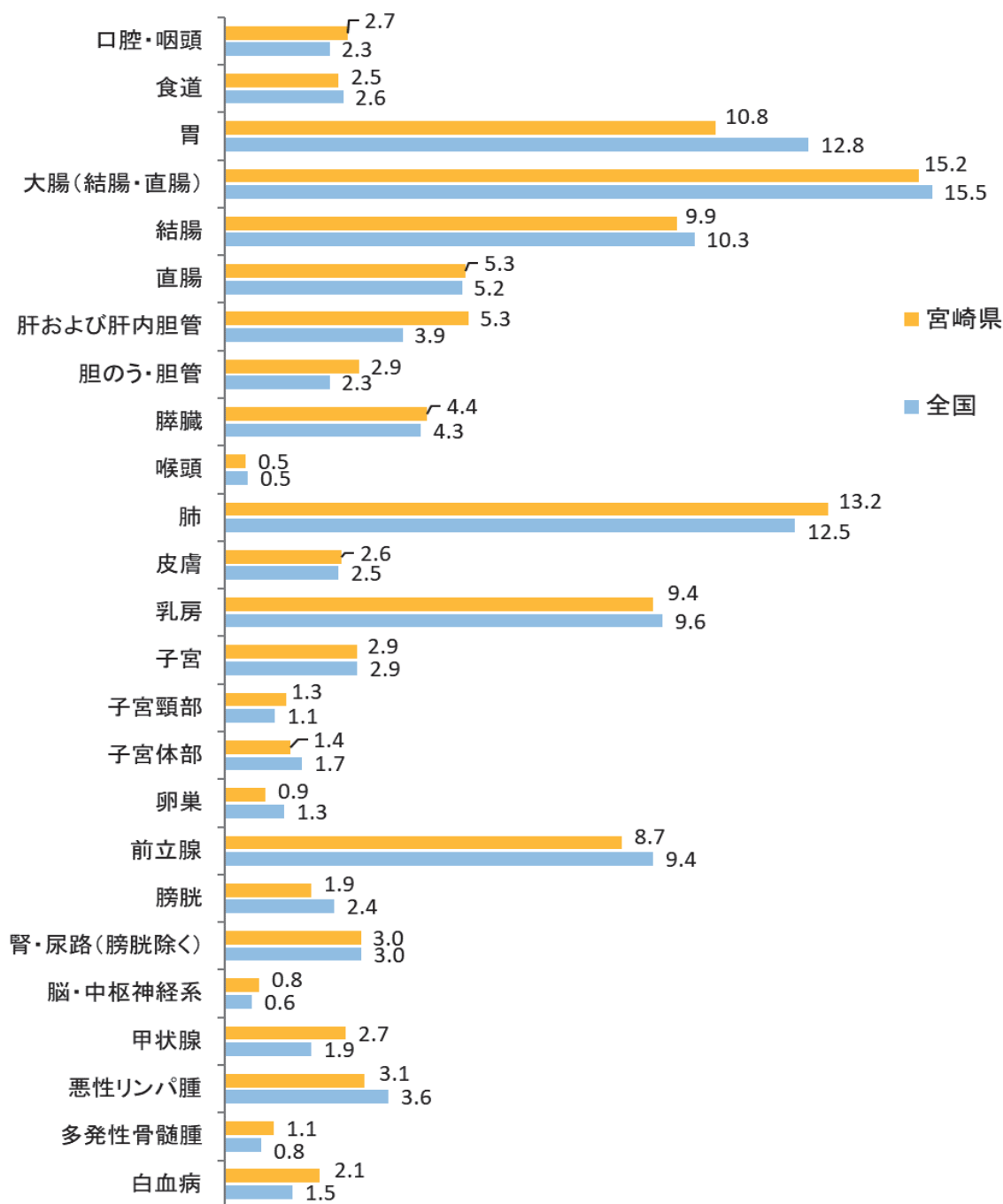


## 4 2018年がん罹患の概要

(1) 全体の概要 : 表1-A(上皮内がんを除く)から作成

2018年宮崎県の罹患数は、男性4,701件、女性3,803件の、合計8,505件であった。総計より、最も多いがんの発生部位は大腸(結腸・直腸)であり15.2%、肺13.2%、胃10.8%と続く。男性では、大腸16.1%、前立腺15.7%、肺15.4%、胃13.6%であり、女性では、乳房20.8%、大腸(結腸・直腸)14.1%、肺10.5%、胃7.2%であった。

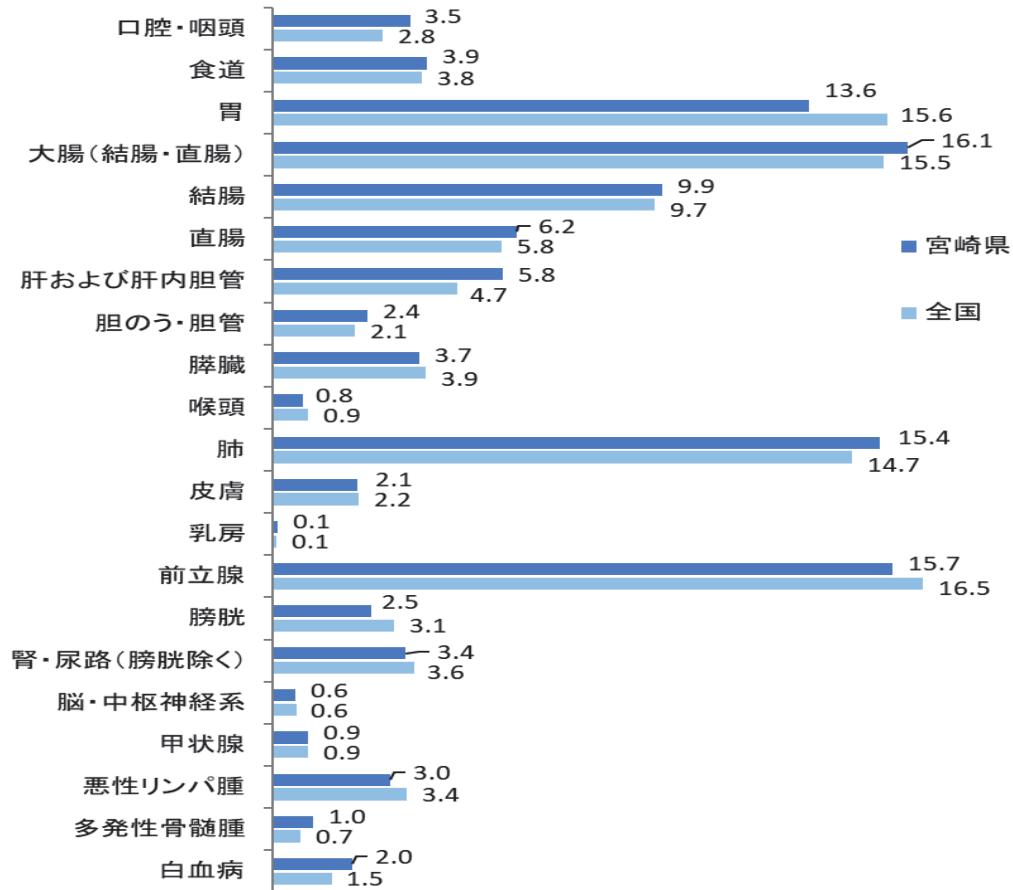
2018年罹患部位別割合(%) (全国比較)



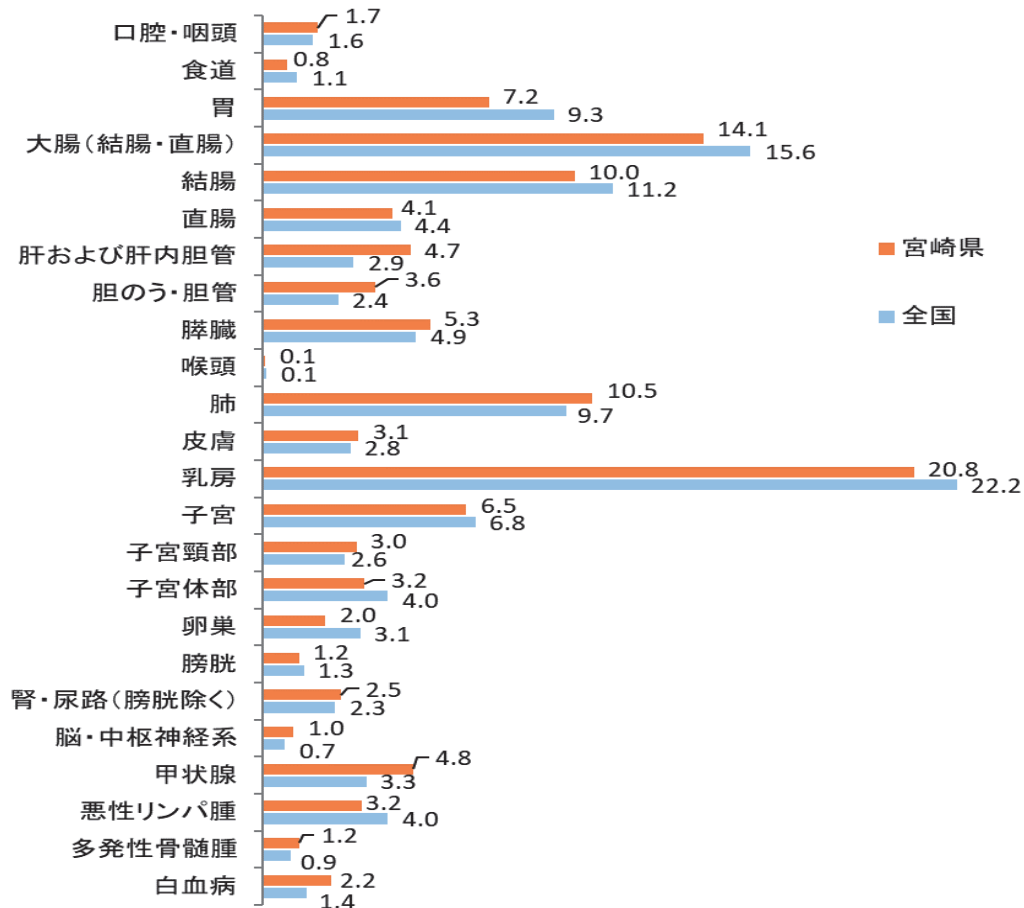
出典：全国値は、

厚生労働省健康局がん・疾病対策課「全国がん登録 罹患数・率報告2018年」から抜粋

### 男性 罹患部位割合(%) (全国比較)



### 女性 罹患部位割合(%) (全国比較)

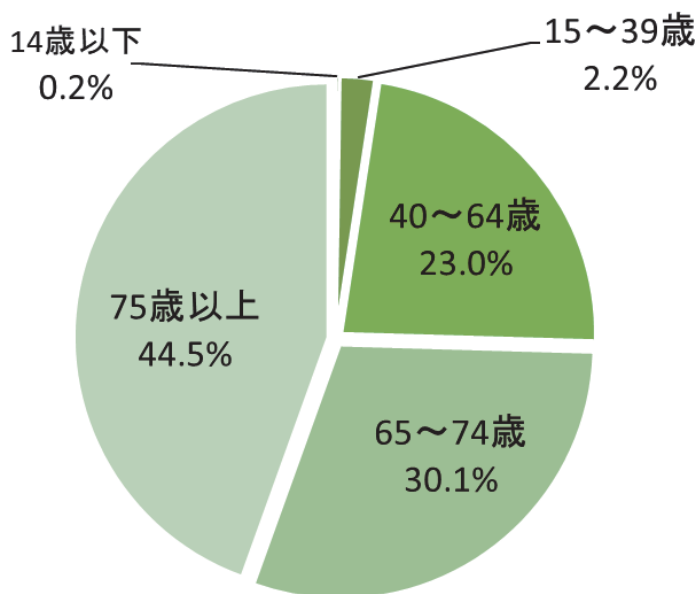


(2) 年齢階級別に見たがんの罹患 : 表 2-A (上皮内がんを除く) から作成

年齢階級別にみると、75歳以上の割合は全体では44.5%、男性44.7%、女性44.3%であった。働き盛りの40-64歳では、男性19.3%、女性27.7%を占めている。男性の60歳から前立腺癌、女性の40歳から乳癌の罹患数がそれぞれ増加している。

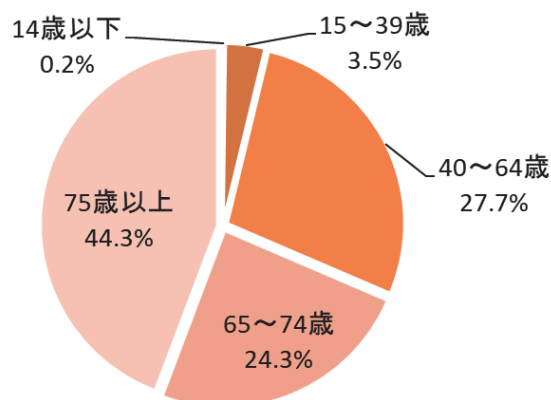
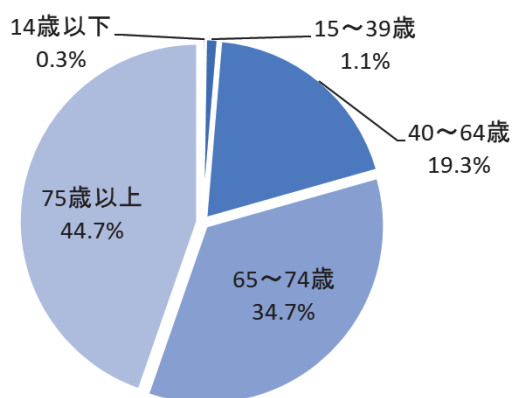
大腸がんは40歳から、また肺がんは50歳から徐々に多くなっている。

全体(件)	
14歳以下	20
15～39歳	186
40～64歳	1,959
65～74歳	2,556
75歳以上	3,784
合計	8,505



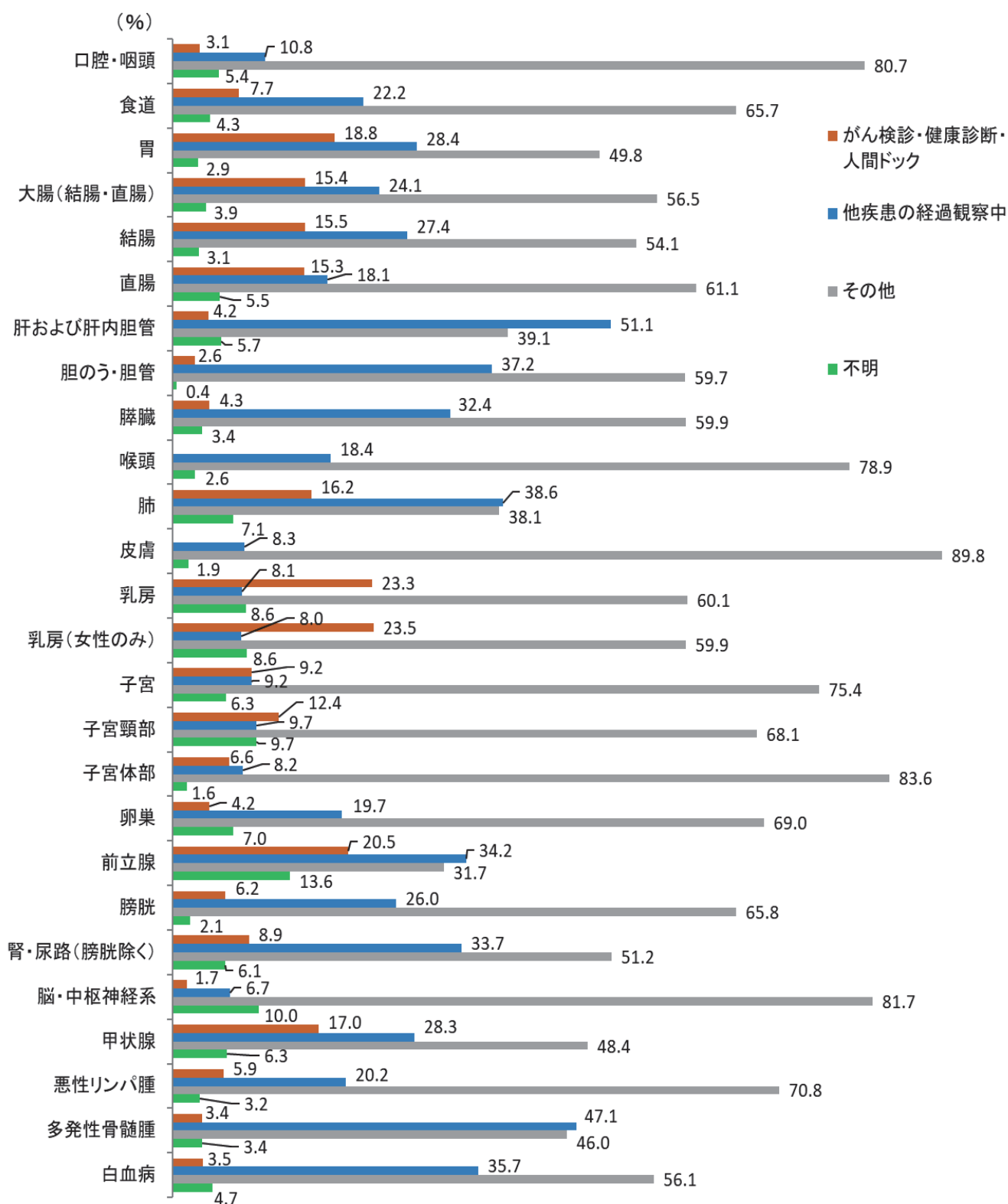
男性(件)	
14歳以下	12
15～39歳	51
40～64歳	906
65～74歳	1,632
75歳以上	2,100
合計	4,701

女性(件)	
14歳以下	8
15～39歳	135
40～64歳	1,053
65～74歳	924
75歳以上	1,683
合計	3,803



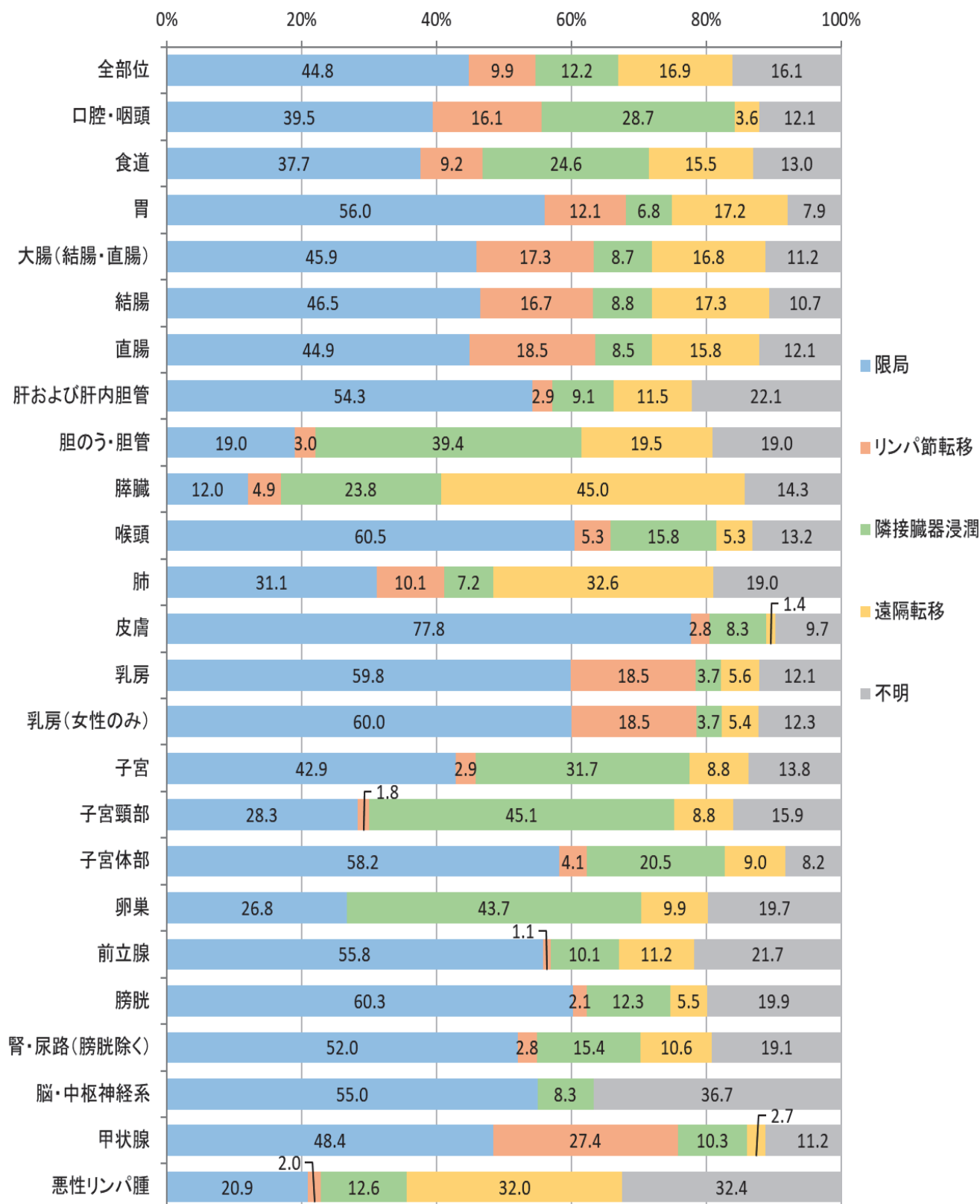
(3) 発見経緯から見たがんの罹患 : 表 4-A (上皮内がんを除く) から作成

部位別に見ると、肝および肝内胆管、肺、前立腺、多発性骨髄腫は「他疾患の経過観察中」に発見された割合が高く、その他の部位は「その他(症状受診含む)」で発見された割合が高かった。また、「がん検診・健康診断・人間ドック」を見ると胃、肺、乳房および前立腺の発見割合が高かった。



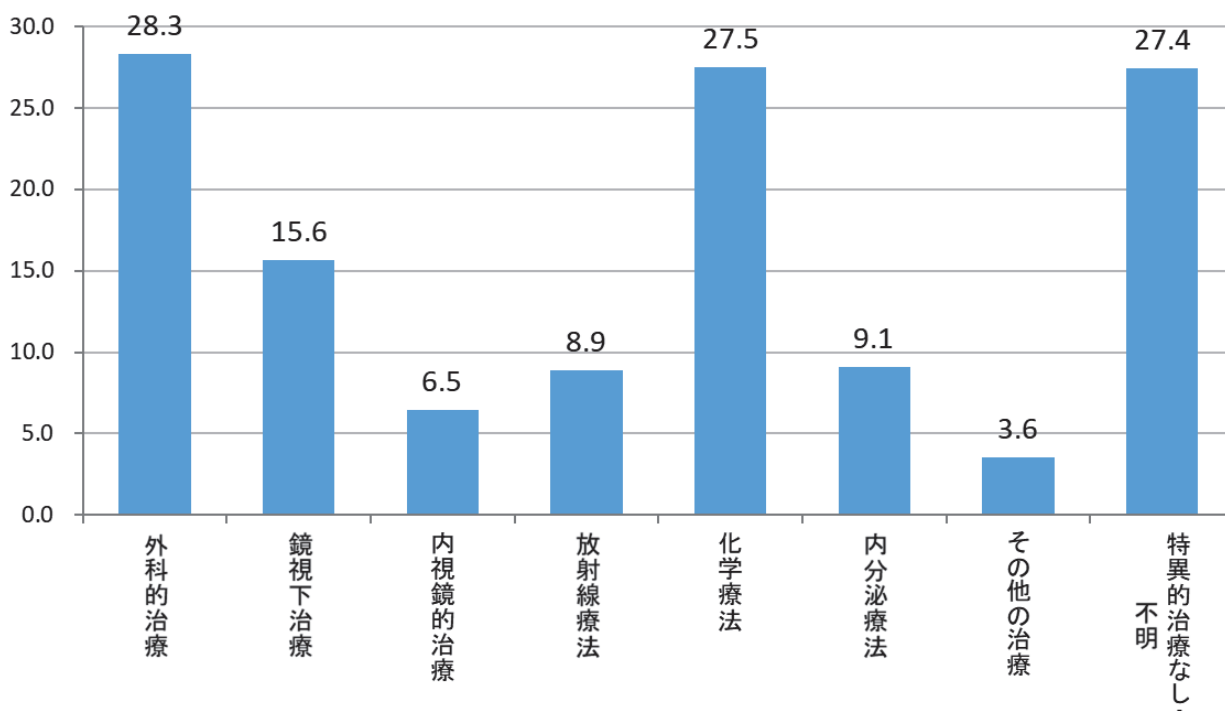
(4) 進展度分布から見たがんの罹患 : 表 5-1-A (上皮内がんを除く) から作成

全部位の進展度を見ると、限局 44.8%、リンパ節転移 9.9%、隣接臓器浸潤 12.2%、遠隔転移 16.9%、不明 16.1%であった。限局の割合が 50.0%以上の部位は、胃、肝および肝内胆管、喉頭、皮膚、乳房、子宮体部、前立腺、膀胱、腎・尿路(膀胱を除く)および脳・中枢神経系であった。



(5) 初回治療内容から見たがんの罹患：表 6-A (上皮内がんを除く) 表 6-B (含む) から作成  
 上皮内がんを除く全部位の初回治療内容を見ると、外科的 28.3%、鏡視下 15.6%、内視鏡的  
 的 6.5%であった。また、放射線 8.9%、化学 27.5%、内分泌 9.1%であった。  
 上皮内がんを除く、含むともにそれぞれ重複を含むため合計は 100%にはならない。

全部位 8135件(上皮内がんを除く)の割合(%)



全部位 8917件(上皮内がんを含む)の割合(%)

